

製品名: V-ATPase D ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab19735

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット、ブタ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP6V1D
別名	ATP6V1D; ATP6M; VATD; V-type proton ATPase subunit D; V-ATPase subunit D; V-ATPase 28 kDa accessory protein; Vacuolar proton pump subunit D
遺伝子 ID	51382.0
SwissProt ID	Q9Y5K8
免疫原	V-ATPase D 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 70-150

背景

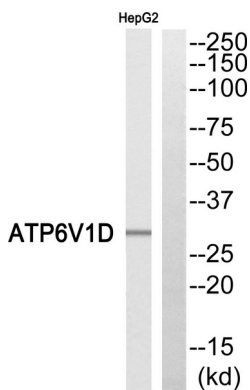
この遺伝子は、真核生物の細胞内小器官の酸性化を媒介する多サブユニット酵素である液胞 ATPase (V-ATPase) の構成要素をコー

ドします。V-ATPase 依存性の細胞内小器官の酸性化は、タンパク質選別、チモーゲン活性化、受容体を介したエンドサイトーシス、シナプス小胞プロトン勾配形成といった細胞内プロセスに不可欠です。V-ATPase は、細胞質 V1 ドメインと膜貫通 V0 ドメインで構成されています。V1 ドメインは、3つの A サブユニットと 3つの B サブユニット、2つの G サブユニット、そして C、D、E、F、H サブユニットで構成されています。V1 ドメインには ATP 触媒部位が含まれています。V0 ドメインは、5つの異なるサブユニット (a、c、c'、c''、d) から構成されています。多くの V1 および V0 サブユニットタンパク質の追加のアイソフォームは、複数の遺伝子または選択的スプライシングを受けた転写バリエーションによってコードされています。この遺伝子は、V1 ドメイン D サブユニットタンパク質をコードしています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 液胞 ATPase の末梢 V1 複合体のサブユニット。液胞 ATPase は、真核細胞内の様々な細胞内コンパートメントを酸性化する役割を担い、液胞系における輸送プロセスに必要なエネルギーの大部分を供給します。類似性: V-ATPase D サブユニットファミリーに属します。サブユニット: V-ATPase は、末梢触媒 V1 複合体 (構成要素 A ~H) と膜貫通型 V0 プロトンポア複合体 (構成要素: a、c、c'、c''、d) からなるヘテロ多量体酵素です。、

研究分野

酸化リン酸化、コレラ菌感染症、ヘリコバクターピロリ菌感染症における上皮細胞シグナル伝達

画像データ



ATP6V1D 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンには ATP6V1D ペプチドでブロッキングされている。